

郡中 進路だより

No. 3 令和4年4月28日
大村市立郡中学校
チーム郡 思いを力に!
文責:進路指導主事 増田弘実

進路学習会を行いました

22日(金)の6校時、3年生は進路学習を行いました。その内容について、一部をお知らせします。

今後の日程について

3年生に關係することを年間行事予定表から抜き出すと、次のようになりました。

月	主な行事など	月	日	試験関係など
5	中総体各種大会	5	9, 10	3年実力試験
6	修学旅行	6	16, 17	1学期期末試験
7	第1回三者面談	7		
8	第1回三者面談	8	26, 29	実力試験
9	体育大会	9	29, 30	実力試験
10	中高連絡会(高校→中学校職員)	10		
11	第2回三者面談(進路希望先決定) 進路決定届け提出	11	2, 4 7~9 14, 15 17, 18	三者面談 2学期期末試験
12	願書準備(写真・願書書き)	12		私立・公立願書書き
1	私立特別入試・合格発表	1		私立特別入試
2	公立前期入試・合格発表 私立1次入試・合格発表	2	2(3)? 8, 9	公立前期入試 3学期期末試験 私立1次入試
3	公立後期入試・合格発表 卒業式	3	7, 8? 15? 16?	公立後期入試 卒業式 公立合格発表

3年生は、ほぼ毎月、何かしらの試験があることがわかります。英検や漢検の受検を考えている人は、その試験も加わります。計画的な取組をしましょう。

普通科の学区について

公立高校の「普通科」には「学区」というものが決まっています。県内に7つ(県北、県南、県央、島原、五島、壱岐、対馬)あり、大村市は「県央学区」になります。県央学区の普通科がある学校は、西陵、諫早、諫早東、大村の4校になります。この4校を志願する場合は、特に制限がないのですが、例えば長崎北陽台高校(県南学区)を受検する場合は、全募集定員の7%までしか合格しないという制限があります。募集定員は240名なので $240 \times 0.07 = 16.8$ 小数点切り捨てで全体として16名までが合格できます。そのうち前期募集定員は60名なので $60 \times 0.07 = 4.2$ 小数点切り捨てで4名までが合格となり、後期試験では $16 - 4 = 12$ 名までが合格できるという仕組みになっています。

家政科、数理(文理)探究科、理数科、工業、商業、農業、水産などの「専門学科」や大村城南高校などに設置してある総合学科には「学区」がない(県下全域から志願できる)ので、この枠はありません。

公立高校の入試制度について

平成15年以来の入試制度の変更があり、一般推薦、文化スポーツ特別推薦、学力検査だった公立高校の入試が、前期入試と後期入試になりました。前期入試はさらにA特色選抜とB文化スポーツ特別選抜に分かれています。

前期試験で合格した場合、その合格を辞退して後期試験を受け直すということはいけません。前期試験で不合格だった場合は、もう一度、公立高校の中から1校を選んで受検することができます。

このように、公立高校を2回受検することができるようになったわけですが、例年前期試験の倍率はかなり高く、たくさんの不合格者がでます。「不合格」を受け取る衝撃は、かなり大きいのではないかと思います。前期試験を出願する際は、その点もよく考えて、出願するようにしてほしいと思います。

入試の定員と表の見方について

長崎東高校は、普通科と国際科がありますが、この2つの学科をまとめて募集する(くくり募集といいます)ので、少し特殊になります。学区外の募集定員は、最大で53人(前期定員8名、後期定員45名)です。「国際科」を志願することはできません。

長崎東高校と諫早高校は附属中学校があるので、それぞれ定員は280名ですが、そのうち120名は附属中学校からの内部進学になります。そのため、入試の定員は160名となっています。

学校	学科 【コース】	募集 定員 (人)	募集 定員 (人)	割合 (%)	選抜 区分	検査の方法等	前期選抜						後期選抜			県外 受入 定員			
							調査 書等	基礎 学力 検査	面接	フ レ シ ン	実 技	作文・ 面接 等	特別 文化 スポーツ 定員	募集 定員 (人)	割合 (%)		各検査項目等の比重		
																	調査 書等	学 力 検 査	面 接
西陵	普通	240	60	25	A特色	基礎学力検査、面接	7	1	2	-	-	-	12名 以内	180	75	3	6	1	若干 名
					B文化・ スポーツ	面接	3	-	7	-	-	-				国	100		
															社	100			
															数	150			
															理	100			
															英	150			

上の表は、昨年度の西陵高校の募集定員です。この表を例にして見方の説明をします。

前期募集の定員は全募集定員の25%で $240 \times 0.25 = 60$ 名です。B文化スポーツ特別選抜の定員は全募集定員の5%以内なので $240 \times 0.05 = 12$ 名以内となります。

この12名は前期募集定員の内数なので、A特色選抜の定員は最低でも48名、最大で60名となります。後期募集定員は全募集定員から前期の募集定員を引いた数になるので、 $240 - 60 = 180$ 名となるのです。前期試験の結果、合格辞退者が出た場合は、後期試験の募集定員が増えます。

この表からは、後期学力検査の傾斜配点も読み取ることができます。数学と英語が150点になっているので、数学と英語の点数が1.5倍されるということがわかります。

A特色選抜では、調査書が7割、基礎学力検査が1割、面接が2割の重み付けがあり、B文化スポーツ特別選抜では、調査書が3割、基礎学力検査は実施されず、面接が7割の重み付けになっていて、後期試験では、調査書が3割、学力検査が6割、面接が1割の重み付けになっていることが読み取れます。

B文化スポーツ特別選抜での出願を考えている人は、実績を証明する添付書類が必要になるので、賞状や新聞記事のコピーをA4版で準備するようにしてください。